

会 議 録

| | | | |
|--------------------|-----|--|-------------|
| 会議名 (付属機関等名) | | 第2回川西市PTAあり方検討会 | |
| 事務局 (担当課) | | 社会教育課 | |
| 開催日時 | | 令和元年9月16日(月・祝) 10時から12時 | |
| 開催場所 | | 川西市役所 2階 202会議室 | |
| 出席者 | 委員 | 野崎構成員、福本構成員、川原構成員、池内構成員、古谷構成員、秋葉構成員、大田構成員、山科構成員、大村構成員、熊手構成員、岡田構成員、高月構成員、小和田構成員 | |
| | その他 | 石田教育長、坂本教育委員 | |
| | 事務局 | 若生教育推進部長、中西教育推進部副部長、喜多川こども未来部参事(幼児教育保育課担当)、大屋敷社会教育課長、井関社会教育課長補佐、田中社会教育課課員 | |
| 傍聴の可否予定 | | 可 | 傍聴者数 22人 |
| 傍聴不可・一部不可の場合は、その理由 | | | |
| 会議次第 | | 1.開会 2.報告 (1)第1回川西市PTAあり方検討会の振り返りについて 3.議題 (1)役員を選出について (2)PTAの活動内容について 4.次回以降の開催について 5.その他 6.閉会 | |
| 会議結果 | | 審議経過の通り | |

審 議 経 過

| | |
|-----|--|
| 座長 | 【開会】 — 座長あいさつ — — 出席者確認 — |
| 事務局 | — 資料の確認 — |
| 座長 | — 会議の流れ説明 — |
| 座長 | 報告(1)第1回川西市PTAあり方検討会の振り返りについて、事務局より説明をお願いします。 |
| 事務局 | (事務局から資料1に基づき、第1回検討会において単位PTAに提示すべきであるとされていた、「任意加入について」「個人情報について」「会費の徴収について」を説明。「役員を選出について」、「PTAの活動内容について」は内容が連動するため第2回検討会においては、この2点について議論を進めていくこととなっていた旨の説明。) |
| 座長 | 続いて、第1回検討会で方向性を示した内容について、検討会終了後にPTA連合会で作られた入退会届案や委任契約書案の報告をお願いします。 |
| 構成員 | (入退会届案・委任契約書案の説明) |
| 座長 | 続いて、前回の検討会終了後における教育委員会の動きを事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局 | (事務局から教育委員会事務局内及び校長会での勉強会と校長会への依頼事項の説明) |
| 座長 | ただ今の説明について、質問等があればお願いしたい。 |
| 構成員 | 校長会についてであるが、2年前の個人情報保護法の改正以来、個人情報の取扱いとPTAの入会届について話が出るようになってきた。 |

| | |
|-----|--|
| 副座長 | <p>第1回 PTA あり方検討会後の校長会での勉強会を受けて、これらの取り組みを急がないといけないのではないかと話し合いを進めている。</p> <p>ただ、現時点ですぐに入会届ということになると、PTAの存続自体が危なくなるのではないかと心配している。まず、今のPTAの在り方、単位PTAの取り組みや仕事内容などの見直しを行い、負担感を少なくしたうえで、PTAに入会してもらえそうな組織づくりをしていくべきではないかと話を進めているところである。そのような条件整備に少し時間がかかるのではないかと考えている。</p> <p>入会届のひな型などを見せてもらい、よくできていると思う。神戸市は規模が大きいため、まだ全体でやれていないが、このようなひな型を近々作らなければならないと動いている。</p> <p>神戸市や県内のある地域で、入会届を取ったところ、入会が3割や4割となり、そこからスタートしているところがある。</p> <p>前回の検討会で決まった3つのこと（「任意加入」「個人情報」「会費の徴収」）について、いつするのかということだと思う。その総意がとれるのかということである。</p> <p>入会届をとるのはよいが、今のままのPTAで加入してくれるのかどうかを同時に考えていかなければならないと思う。今、神戸もそのような感じで進めている。</p> |
| 構成員 | <p>この入退会届の案を提示した時に、期限を明確にしなかった。私も単位PTAの経験があるため、どれだけ単位PTAが忙しいのかということとはよく分かっている。本来の活動の妨げにならないようにと思い、期限を設けなかった。ただ、法的に問題があるため、あまり悠長にはしておけないと思っている。PTAの皆さんが責任を問われないように早く進めてもらうことがよいのではないかとこの考え方で動いている。</p> |
| 座長 | <p>お2人からお話があったように、形としてはこの形をベースにせざるを得ないということと、もう一つは今のPTAの必要性や魅力という部分の議論と並行させていくということで共通認識していただけるのかなと思っている。</p> <p>この件については、今後行ったり来たりするかもしれないため、議論を先に進めさせていただく。</p> <p>議題(1)「役員の選出について」進めさせていただく。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | (事務局から資料2に基づき役員選出の手法・留意点、法的見解について説明) |
| 座長 | <p>皆さんが経験されている又は経験された役員の選出の方法については、学校によって若干違って来るかと思うが、意見もしくは望ましい形を提示いただき情報共有したうえで議論を進めていきたいと思う。構成員の皆さんの発言をお願いしたい。</p> |
| 構成員 | <p>私は、中学校、小学校、幼稚園でPTA役員を経験している。今、どの学校も役員選出に向けて動き出しているところである。PTA 連合会からの発信もあり、今のところ診断書の提出を求めないこととみんなの前で免除理由を言わせないことが精一杯ではないかと思っている。</p> <p>以前、みんなの前で免除申請の理由を発言させることについて「そこまでしないといけないのか」とPTAのOBに尋ねたことがある。私たちもつらい内容をみんなの前で話すのを聞きたくはなく、また、本人も言いたくて言っているわけではなく、免除が欲しい、役員をしたくないという思いで言われている感じがしている。OBからは「誰も納得しないでしょ。みんなに伝えないと、なぜ免除になったのかと聞かれた時にあなたは責任が取れないでしょ。」と言われ、責任は会長にかかってくるのかなと非常に重荷に感じたことがあった。</p> <p>立候補や推薦で成り手が出なくなったため、公平にくじ引きになったところが多いかと思うが、ほとんどの人はくじを引きたくて引いているのではない。</p> <p>今までの加入届をとっていない状態では、どうせしないといけない、やらないといけないという気持ちでくじ引きに来ている人がいた。</p> <p>PTA 会員になりたくない人の意見を聞くと、その多くは会費を払いたくないのではなく、会費を倍払ってでも役員をやりたくないという方であった。</p> <p>入会時に役員選出はくじ引きで行うとPTA規約で知らせると、お金は払うから役員をしたくないという方は入会せず、非会員がかなり増えると思う。</p> <p>PTA 会員を減らさない方法として、委員役員選出用紙に「次年度は辞退します」とか「次年度は引き受けられません」という役員をしなくてもよい項目があれば、みんながそれにマルを付け、PTA 会費を払ってもらえると思うため、そこまで大幅に会員が減ったりしないと思う。ただ、そうすると次の成り手が出てこないだろうと思う。</p> <p>私が幼稚園、小学校、中学校と立候補して役員をやった理由は、子どもが多いため、永年免除がもらえるという特典と、どうせやらないといけないのなら自分のできるタイミングでやりたいと思い時機を見て立候補した。立候補している人のほとんどはこういう理由が多いと思う。</p> |

| | |
|------------|---|
| <p>座長</p> | <p>この先、永年免除が通用しないのであれば、非会員になればよいという選択肢が出てくるため、PTA 自体に本当に魅力がないとくじを引くことに納得する人がいなくなるのではないかと思う。</p> <p>本当に PTA に魅力があって毎回立候補で決まれば非常にやりやすいと思うが、今のままでは立候補は難しいと思う。</p> <p>副座長の学校では学校運営に PTA が参加できるため、毎年立候補で役員が決まっているという話を聞いた。魅力ある PTA とは非常に難しいことであるが、魅力的な PTA に変えていかないと PTA の存続は無理ではないかと思う。</p> <p>後半の部分が、このあり方検討会そのものの議論になるため、議論としてはその入口のところである選出の方法について話を進めさせていただく。</p> |
| <p>構成員</p> | <p>今、話を聞きながら、だんだん悲しくなってきた。選出方法に堂々とくじ引きと書かなくてはならない現実、本当にもう終末期だと思った。</p> <p>PTA は魅力があるから入ろうとかそういう次元のものではないと思う。子どもが行っている学校の PTA であるため、当然魅力があった方がよいが、PTA の在り方を考える時に魅力を挙げるのは本来違っていると思う。子どもが事故もなく元気にすくすくと育って学校に行けることが一番だと思う。確かに魅力はあった方がよいが、私には非常に納得がいかないところである。</p> |
| <p>構成員</p> | <p>今の保護者は忙しいことが大前提にある。今が昔と同じように専業主婦の多い時代であれば、PTA の存続が危ぶまれることはないと思う。</p> <p>自分の働いている時間を削ってまでやろうと思える魅力が PTA に必要で、そのことをアピールしていかないと時間のない世代には響かない。子どものためにという大前提があっても、したくてもできない家庭がたくさんある。それが数年前から、できる人だけがやればよいと押し付け合いになってきたため、こういう大きな問題になってきたのかなと思う。理想は子どものためであるが、忙しい保護者が増えているのが事実である。</p> |
| <p>構成員</p> | <p>幼稚園については、役員選出の時期や方法について、園によって色々である。また、今後、保育料無償化になる関係や園児数の減少もあり、次年度の役員選出も視野に入れ、保護者会の軽減できるところや見直しを常に行っている。</p> <p>役員選出も以前は総務の役員の内容によって各学年から選出し、複数にすることもしていたが、園児減少の今、園全体として考えて、総務それぞれに1</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>名ずつ選出するなど園によっては役員を減らしている傾向もある。今の園でも数年前に比べて役員の仕事内容もかなり見直しがされていると思う。</p> <p>役員は毎年人が変わり、また、初めて経験をされる方がほとんどであるため、企画運営に関して非常に不安があり、小さい子どもを抱えながらする場合などどうしたらよいのかという悩みもあるため、園長が顧問として相談に乗り、できる範囲で安心して楽しく取り組めるようにしている。</p> <p>また、保護者会の役員選出に係る免除理由などについても、園長が相談を受け、寄り添うような役員選出に変わってきている。</p> |
| 座長 | <p>幼稚園の場合は送迎があるため、保護者と日常的にやり取りがあり、その中で園長先生や職員とコミュニケーションがよく図られている。</p> |
| 構成員 | <p>幼稚園では、できる範囲でやっているため、負担を感じることはないまま保護者会が存続できている。しかし、小学校は先ほど言っておられた通りだと思う。</p> <p>自分の子どものことに興味がないわけではなく、学校と協力してやっていきたいと思っているが、PTAが昔から抱えている仕事を今の母親もやってくださいというのは無理だと思う。</p> <p>校長先生から、保護者会の力は必要ですと言われたが漠然としており、具体的にどのように必要なのか分かりにくいいため、負担に感じているのではないかと思う。やっていることが子どもたちのためになっていることが分かれば、負担には感じないと思う。</p> |
| 構成員 | <p>特別支援学校は12年間あり、その間に会長職は1回やれば済むが、副会長やその他の役員は毎年当たる。子どもの病状や仕事の関係で、役員の仕事流動的に変更したり、助け合いながらやっている。</p> <p>仕事の内容もかなり減らしてやっており、減らした分について学校にお世話になっている部分が多い。子どもだけでなくPTAも学校にお世話になっていることを身近に感じているため、そこは学校と協力してやっていけている。</p> <p>学校の協力がなければ、PTAの仕事を減らすことはできないのではないかと思う。</p> <p>特別支援学校は地域が関係してこないため、他のPTAとは異なる。</p> |
| 座長 | <p>幼稚園や特別支援学校、高等学校など校種別によってPTAの性格が全然違うということを共通認識いただいたうえで、公立の小中学校のPTAの在り方を議論のベースとして進めていきたいと思う。ただそう言いながらも幼稚園</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>や高等学校、特別支援学校もあるということを含んだうえで進めていければと考えている。</p> <p>それでは、今、在り方のほうに話が進んでいるが、話を戻し、役員を選出について、他の方からのご意見をお願いしたい。</p> <p>今、どこの学校も総務選に向けて動き出しているが、この内容は今からすぐに取り組むのか。</p> <p>法的見解で、くじを引かせるのは問題ないと言われたが、どの学校も加入届をとっていない状態でスタートしようとしている。くじを引いてもよいとみなしてよいか。</p> <p>今、単位 PTA は本当に大変である。単位 PTA のことを思うとはっきりさせたい。</p> <p>欠席されても代理でくじを引きますという文言が要綱に書いてあるが、このまま進めてもよいのか。もう動き出している学校が多い状態であり、総務選出が一番大変というイメージがあるため、ここが一番引っかかる場所である。</p> |
| 座長 | <p>「くじ引きで役員を決めるということは問題ない」ということが、今の時点で外に出てしまうことがよくはないということか。</p> |
| 構成員 | <p>よくないわけではないが、例年通りにやろうとしている学校が多い中、この内容が出て、保護者から加入届を取っていないにも関わらず、くじ引きで選んでよいのかと言われた時、現場の単位 PTA は困ってしまう。単位 PTA がそれを背負うのは本当に大変であり、どうすればよいのか。「入会届をとっていない」とか、「くじ引きは納得できない」とか、「退会します」とか言って来られた方に個別に対応するしかないのか。</p> <p>加入届をとってないため、個人で対応するしかないが。</p> <p>選考会に来た方にはくじを引いてもらってよいのか。</p> |
| 座長 | <p>年度途中でくじを引いてもらうのはどうかということであろうか。</p> |
| 構成員 | <p>今までラッキーが続いて何も起こらなかっただけで、でもいつかはそれが崩れてしまうため、きちんとしましようというのがこの入会届であり、役員選出についての法的見解だと思う。</p> |

| | |
|-----|--|
| 座長 | <p>基本的には会議の場で確認されたことは、1つのたたき台であるため、各単位 PTA にこれで行ってほしいというものではないということをご承知いただきたい。</p> |
| 構成員 | <p>ここで決まったことはかなり重い。特に法的見解があり、それは法を犯していることになる。</p> |
| 構成員 | <p>立候補が出てきた場合はよいが、そうでない場合は、ほとんどがくじ引きで決めることになる。その場合、方法は学校によって違うが、保護者にきちんと知らせる必要がある。</p> <p>ほとんどの学校では来年度に向け、入会届等を作っていこうと動いているが、今年度に関しては、4月もしくは5月の入会確認により、辞退もできるということを言っておくことも必要かなという意見が校長会で出ている。また、「任意である」「入会しなくてもよい」ということをくじを引く人やくじ引きで決まった人に知らせておく必要があるという意見が校長会で出ている。</p> |
| 座長 | <p>議論もこの後さらに出てくるのかなと思うが、一旦ここで10分間の休憩を入れさせていただく。</p> <p>— 休憩 —</p> |
| 座長 | <p>前半の部分の第1回検討会の振り返りについては、大体ご了解いただいたということ、PTA 連合会の作られた資料は単位 PTA に参考としてご検討いただくということが確認された。</p> <p>次に、役員を選出についてであるが、ここで確認しておきたいことは、基本的に役員を選出というものは、あくまで任意団体であるため、私がやりますという形で手を挙げて決まっていくというのが基本でありベストである。私事で恐縮であるが、私の妻は小学校の PTA 会長をしていた。私が行くと言うと、「話がややこしくなるためから駄目」と言われ、私はあいさつ文や卒業式などの式辞を書き、内助の功をしていた。妻に言わせれば、「やって当たり前」ということであったため、腹をくくってやった。子どもたちの学校はくじ引きなどではなく、話し合いで決まっていた。ただ、そのようにならない場合は、免除申請やそれに関する書式を提出し、免除もしくは、くじ引きを了承したうえで実施するというのが次善の策として実施されている。この確認でよいだろうか。</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>それでは、本来あるべき姿と言うか、「私やります」というような声が会員の中から出るような PTA の在り方というものをどう作っていけばよいのか。今までとは状況が違っているという環境の中でどういった PTA の在り方というものが描けるのか、子どもたちのために大人は何ができるのかというところで、PTA の活動内容について、話を進めていきたいと思う。</p> <p>それでは、議題 2 の PTA の活動内容について、事務局から説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>(事務局から第 1 回 PTA あり方検討会資料 5・6 の PTA の活動内容について説明)</p> |
| 座長 | <p>今、事務局から PTA を取り巻く環境や諸々の業務について説明があった。先ほどの議論の延長線上で結構であると思うが、PTA の活動をしている中で皆さんから負担に感じていること、もしくは逆にプラスである部分、これら両面を出していただきたいと思う。</p> |
| 構成員 | <p>先ほど、仕事内容を明確にという話があったが、学校からの仕事内容は比較的明確な気がする。校内の仕事の見直しは PTA の言うことを聞いてもらっており、無理矢理やらされているという感じはほとんどない。しかし、小学校・中学校になると、地域や外部団体の活動が増える。幼稚園は園児のためにやっているという感じがあるが、小中学校になると疑問に思う活動が多いように感じる。</p> <p>PTA 役員をしてみると、コミュニティに大変お世話になっていることが分かる。そのため、コミュニティとは非常に丁寧にやっていかなければいけないと思っているが、保護者には理解が得られず、コミュニティは大変というイメージが広がっていったのではないかなと思う。</p> <p>3 年ほどコミュニティと関わっており、会議や作業などの集まりが多いという声を聞く。毎年同じ内容の活動で 30 分から 2 時間のために半日または 1 日休みを取らなければならない保護者が出ている現状がある。仕事をしている保護者が多い中、それが大変に感じるのかなと思う。コミュニティへ発言できる保護者はほとんどいない。無理のない範囲で出席してほしいと言われても真面目な保護者が多く、お手紙をもらおうと無理をしてでも出席しなければならないと思ってしまう。会議に出席しないで、当日のお手伝いのみにしていただくことはできないものか。また、会員が減ってきた場合、お手伝いの人数を減らしてもらってはできないのか。</p> |

| | |
|-----|--|
| 座長 | <p>ここは PTA の在り方を検討する会であるため、団体間の交渉というのはご遠慮いただくようお願いしたい。</p> <p>PTA には学校関連以外にも、地域だけでなく行政からも依頼事項が多くあり、PTA 会長があて職で入っている業務が多いという状況にある。</p> |
| 構成員 | <p>今話を聞かせてもらい、地域格差があると感じた。我々の地域では、PTA には仕事を持っていくことはない。自分も働いていたため、どのようにしたら皆さんが会議に出やすいのかを考え、会議の日程や時間の配慮をしてきた。私の地域では PTA に負担のかかるようなことはやっていない。学校側に対しても地域として協力をするが、学校側に全部やって欲しいとも言っていない。そこは、学校・地域・PTA が連携してやっていけば解決できる問題だと思う。</p> <p>今出た意見はコミュニティ連合会で、各地域に行事の見直しや、内容的に負担をかけないようにしていけないといけないのではと伝える。</p> |
| 座長 | <p>地域だけでなく色々なところから PTA には依頼が来るため、自治会だけではないと思うが、他にはいかがか。</p> |
| 構成員 | <p>今、選出の問題が取りざたされているが、一般の方には PTA の役員はおかしなことをやっていると聞こえるかもしれないが、川西の保護者のレベルが決して低いわけではない。</p> <p>各 PTA には規約がある。PTA はほとんど母親にゆだねられてきた。何とかしなければならないという思いがこの規約に少しずつ凝り固まってきて、それを一生懸命守ろうとしているのが今の PTA の母親である。それを理解していただかないと「PTA の考え方がおかしい」と言われたり、その負荷がコミュニティや学校にあるという変な論調になってしまう。各 PTA の仕事が多すぎるのである。規約で 1 年間にする仕事が決まっているのである。一度この規約を柔らかくしなければ、この議論を何回やっても、永遠に続きそうな気がする。そこから在り方を変えていかなければならず、表面的なことをやってもしこりみたいなものが残っていかないと心配している。</p> |
| 副座長 | <p>PTA の在り方で一番初めに議論すべきだったのは、3 点セットと言われている法的に問題になっていることではなく、活動内容だったと思う。活動内容を先に議論し、PTA の活動を川西の皆さんが川西流の PTA 活動に変えてから次に行くべきではないかと私は思う。</p> <p>PTA 活動は強制されないこととやりがいを見つけることが大切である。先ほど魅力の話も出たが、団体の性格上強制してはいけないというのは当たり前</p> |

| | |
|------------|---|
| | <p>になる。次にやりがいである。強制しないと3点セットはマイナスの話ばかりであるため、ゼロにはいくと思う。学校の校長先生は、いかに混乱なく移行しようかと考えておられる。これはマイナスの部分でゼロに持っていく議論である。しかし、私はマイナスをゼロに持っていくのではなく、一挙にプラスに持っていかうとしたのである。その持っていく原動力は何かというと、やりがいなのである。私たちは子どものことを本当に議論するPTAのTであるため、それが仕事だという形に変えれば、保護者は理解してくれる。だから立候補してくれるのである。一度すると3年間立候補してくれるリピーターである。いらない仕事は全くない代わりに子どものことに対する本質的な議論を徹底的にする。母親の議論と職員会議とを同時に回している感覚である。PTAの活動をもっともっと子どもの方へずらしていったような感覚の視点をもつのもよいかと思う。</p> |
| <p>構成員</p> | <p>先ほどの話のように、保護者が学校に意見を言えるというのは非常に理想的だと思うが、校則についても保護者から子どもが思っていることを学校側に伝えても、あまり進まないことがあるため、先生も少し頭を柔らかくして取り入れてほしいと思う。</p> <p>基本的にその仕事内容というのは、役員として構成されたメンバーが上がってきた時に自分たちのできることで子どもたちにしたいことを話し合っ、活動を決めていくのが理想だと思うが、今の保護者は非常に真面目であるため、規約に書いてある通りにしなければならぬと思っているのが現状である。先ほど言っていた、規約を取り払って見ないといけないということは、誰もが分かっている。ただ、その責任が1年で交代する会長1人にかかってくるということが、単位PTAにとっては非常に重い。その改革をした後にPTA会員が減ったり、存続できなくなるかもしれないと思うと単位PTAの会長としてはなかなか一歩を踏み出せないところがある。規約を柔軟なものに変える時も、その決断を会長がやっていくというのは非常に難しいと思う。川西市は男性の会長が少ない現状がある。女性ばかりで議論するのではなく、男性にも会長になってもらい、違った角度からアドバイスをもらえたらと思う。女性会長が多い中、最終的な決断を普通の母親である人だけにゆだねるということに非常に責任を感じている。たとえくじで当たった会長であっても、会長という名前が付くだけで全ての責任を負わされているのを感じている方が多い。</p> |
| <p>構成員</p> | <p>会長になると来賓で結構呼ばれるという話であるが、私のところに校区内の中学校から運動会の案内が来た時に、歴代の会長は出席していたが、学校に連絡すると、快く欠席を受け入れてもらった。今までの流れで参加しなければ</p> |

| | |
|------------|---|
| | <p>ならないものと思っていたが、無理に出席しなくてもよいということを来年度の役員に引き継ぐことができると思った。これを、断りにくいとか、手紙が来ると行かなければならないと真面目に受け止める母親らがいるのであれば、来賓の案内を送る時に「来れたら来てください」とか、「来れない場合も連絡は不要」という一文を載せてもらえれば会長らの負担が減るのかなと思った。</p> |
| <p>構成員</p> | <p>今の川西全体の流れで言うと、校区ごとに来賓の行き来はやめようという形になってきている地域が多いと思う。私の地域でも昨年度で来賓の行き来はなくしている。だいぶ減ってきているとは思っている。</p> |
| <p>構成員</p> | <p>細かい話は置いておき、活動内容のところを、現状も含めて今後しっかり詰めていけば、おのずと先のことが見えてくるのではないかなという気がする。</p> |
| <p>構成員</p> | <p>本校も PTA と学校に関わる周りの団体と色々なことを相談している。コミュニティの会長とも、今の PTA の流れや現状、今後どのようになっていくかわからない不透明な部分も含めて話をさせてもらった。コミュニティが抱えておられる難しい部分や、色々なことを感じながら取り組みをされているということが伝わってきた。おそらくコミュニティにも学校や PTA の現状が伝わったのではないかと考えている。その話の中で、コミュニティの中に人権推進委員や献血推進委員会などが同じ1つの団体だと思っていたのが、そうではなく、人権の方は人権推進協議会から、献血の方も違う流れからきているということを教えていただき、初めて知ることができた。</p> <p>先日、臨時の PTA 総会を開き、「PTA 活動は本来的には善意と奉仕と寛容の活動だと思っている。色々な状況の中でできる人もいればできない人もいる。できない人も全然学校のことを考えていないかと言えば決してそのようなことはない。そのような中で、どのような PTA 活動を作り上げていくのかということと学校と保護者とのパイプ役でもあり、学校と地域とのパイプ役としても PTA の存在を非常に大事だと思っている。そういう中で PTA の活動の在り方というものを考えていきたいと思っている。」と話をした。</p> <p>そのようなことを校長会でも話をしていこうと思っている。</p> |
| <p>構成員</p> | <p>兵庫県のある地域で、過疎化で地域の産業も観光も駄目になりかけていた町があった。PTA も子ども会も地域もみんな地域が崩壊してしまわないように目標を決め、ある行事に取り組むことにした。目標に向かってみんなが活動すると、気が付いたら PTA で今やっていること、地域が大事であるということ</p> |

| | |
|----------------------|---|
| | <p>や学校の先生に教わった内容などが全部含まれており、目標があるとよいと思った。今、我々は、地域のことを分かって、学校のことを分かってかしているが、そこには全部集約されている。そのような簡単なものがあつたらよいなど、その地域をうらやましく思った。</p> <p>今、「見直しする方向で行こう」と話があつたが、活動など今まで歴史のあるものには理由があるため、絶対に簡単には変えられない。変えようと思った時には勇気がある。私も経験してきており、非常にしんどかった。変えることは、相当なエネルギーがあるため、ぜひ校長先生を助けてあげてほしい。</p> <p>それから、申し訳ないがPTAは頼みやすいため、何か頼んでおこうというような頼み方をされていることが非常に多い。それは勇気をもってやめないとPTAの母親や父親は納得されないと思う。</p> <p>地域に出向いていくことでも逆に地域活動が盛んになったケースもある。それまで母親や大人がやっていたことを中学生にやらせてみたら非常に活気が出たという話である。子どもを主体に活動を見直していくということである。</p> <p>専門部委員会はほとんどいないことが多い。子どものためになっていないことが多いためである。本当に真面目な母親はマニュアルを決められたら全部しなければいけないと思う。思い切ってやめてみて、駄目ならもう1回復活してもよい。それぐらいの見直しをしてもよいと思う。</p> <p>何度も言うが、それをやると校長先生にすごい風が来るため、本当に校長先生を守ってあげてほしい。そして、思い切ってゼロベースにして必要なものだけをやる。それくらいやれば逆にその時代の風に合っていき、地域活動にもよい役割を果たすのではないかと思うため、マイナスのイメージで削るのではなく、プラスのイメージに削るということを考えていただければと思う。</p> |
| <p>副座長</p> <p>座長</p> | <p>時間が迫っているため、これで今回は終了ということによいか。</p> <p>事務局から提示されたたたき台の1～4番は、副座長が話をされたようにPTAの在り方そのものが問われており、1～4はあくまでベースであるということ。PTA連合会から提供いただいた資料はあくまでもひな形であり、これをどう使うかは単位PTAの判断であり、年度途中で始めるというのは混乱も多いということであるため、そこはよくご検討いただければと思う。</p> <p>次回については、今回、大体ベースが出来上がったため、役員を選出では全員手が上がり、頑張ってみようという気運が醸成されるようなPTAの在り方、子どもたちのために何ができるかというところをベースにし、活動内容について議論ができればと思う。</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>座長の立場からは、父親の力をどう取り込んでいくのかということも1つの検討課題としてあるかと感じた。</p> <p>それでは会議の次第についてはすべて終了となった。</p> <p>事務局から次回の会議の開催についての説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>(事務局から第3回を11月17日(日)午前10時から2時間程度で市役所7階大会議室において行う旨の報告)</p> |
| 座長 | <p>5. その他について、何か発言があればお願いしたい。</p> |
| 構成員 | <p>次回に向けてであるが、PTA 連合会から単位 PTA へ、PTA に対して現場の声が集められるようなアンケートをお願いしている。次回にはその現場の声を皆さんにお届けできるような準備をしているため、よろしくお願いしたい。</p> |
| 座長 | <p>大変な仕事であるが、よろしくお願いしたい。</p> <p>以上で第2回川西市 PTA あり方検討会を終了する。</p> |